

**製品名: CD4 (リン酸化 Ser433) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04402**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	CD4
別名	CD4; T-cell surface glycoprotein CD4; T-cell surface antigen T4/Leu-3; CD antigen CD4
遺伝子 ID	920.0
SwissProt ID	P01730
免疫原	抗血清は、Ser433 のリン酸化部位周辺のヒト CD4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 401-450

**背景**

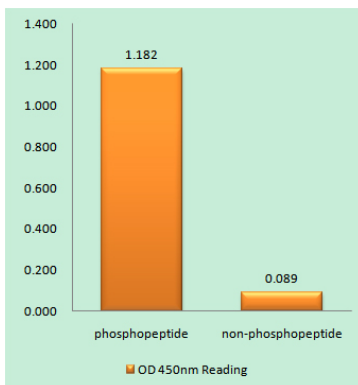
この遺伝子は、主要組織適合抗原複合体クラス II 抗原と相互作用する T リンパ球の膜糖タンパク質をコードし、ヒト免疫不全ウイルス

スの受容体でもある。この遺伝子はTリンパ球だけでなく、B細胞、マクロファージ、顆粒球でも発現している。また、脳の特定の領域でも発現している。このタンパク質はT細胞活性化の初期段階を開始または増強する働きがあり、中枢神経系の感染症や免疫介在性疾患における間接的な神経細胞障害の重要なメディエーターとして機能する可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2010年8月]、機能: MHCクラスII抗原/T細胞受容体相互作用の補助タンパク質。T細胞活性化を制御する可能性がある。脂質ラフトの凝集を誘導します。、その他:HIV-1の主要受容体。、オンライン情報:CD4の進入,PTM:パルミトイル化およびLCKとの会合は、脂質ラフトにおけるCD4の濃縮に寄与します。、類似性:1つのIg様V型(免疫グロブリン様)ドメインを含みます。、類似性:3つのIg様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを含みます。、細胞内局在:脂質ラフトに局在します。HIV-1 Nefタンパク質によって細胞膜から除去され、この抗原のクラスリン依存性エンドサイトーシスが増加してリソソーム分解が促進されます。細胞表面発現は、小胞体と相互作用してCD4を隔離するHIV-1エンベロープポリタンパク質gp160によってもダウンモジュレーションされます。、サブユニット:LCKと会合します。HIV-1 gp120およびP4HB/PDIに結合し、HIV-1が細胞膜に結合すると、P4HB/PDI-CD4-CXCR4-gp120複合体の一部となる。HIV-1エンベロープポリタンパク質gp160およびタンパク質Vpuと相互作用する。ヒトヘルペスウイルス7のカプシドタンパク質とも相互作用する。

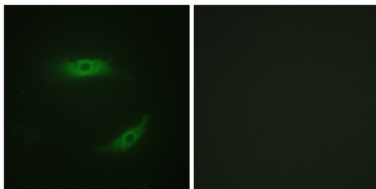
## 研究分野

細胞接着分子 (CAM)、抗原処理および提示、造血細胞系統、T細胞受容体、原発性免疫不全症、

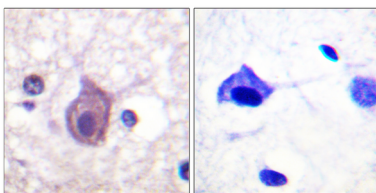
## 画像データ



CD4 (リン酸化 Ser433) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



CD4 (リン酸化 Ser433) 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



CD4 (リン酸化 Ser433) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。